2025年日本国際博覧会　

情報通信サービスに必要となる会場への伝送路設備整備業務

仕様書

# **概要**

# （１）業務名称

2025年日本国際博覧会

情報通信サービスに必要となる会場への伝送路設備整備業務

## （２）業務概要

大阪・関西万博では世界から多くの人の参加を促し、また、未来社会の一端を体験できる会場となるよう、ICT（情報通信技術）を効果的に活用していく。

大阪・関西万博基本計画にあるICTを活用して「来場者の利便性や快適性の向上」、「会場運営の効率化と安全性の確保」、「多様な参加と得られたデータの社会還元」を実現

　するサービスを提供するには、有事に備え必要な情報通信回線のバックアップ体制を構築することが必要である。本業務では、情報通信回線を冗長化し高信頼のネットワークを構築・運用することにより、会期中これらICTが止まることなく安定的に伝送するバックアップ回線の構築を行うものとする。

# **業務内容**

本業務ではバックアップ回線のサービス提供に必要となる伝送路設備（伝送設備及び線路設備）を構築するものである。

主要な設備概要は以下のとおりとする。

（１）伝送路設備構築

## 【構築希望ルート】

## 各電気通信事業者拠点～咲洲～（咲洲トンネル）～夢洲 万博会場内管理棟（別紙１参照）。

【夢洲 万博会場管理棟への引き込み】

夢洲 万博会場管理棟内においては２０２５年日本国際博覧会協会の指定する場所まで回線を敷設すること。

なお、具体的な敷設箇所については２０２５年日本国際博覧会協会の指示に従うこと。

【構築希望芯線数】

光ファイバーケーブル1.000芯

【開通希望時期】

2024年10月

（２）サービス提供

　　　 前項で構築した伝送路設備を用いたインターネット接続サービス、広域イーサネットサービス等。

　　　 具体的なサービス種別、利用数などについては別途、協議の上決定することする。

# **契約期間**

契約締結日から2024年10月31日まで

【別紙１】　業務範囲

**各電気通信事業者拠点へ**

**構築希望ルート**

**咲洲**

万博管理棟

**夢洲**

**舞洲**